

第3回屋久島町観光基本計画策定委員会 議事録

日時	令和7年6月26日（木）14:00～15:00	
場所	屋久島町役場本庁 2階会議室	
参加者	屋久島町 副町長 屋久島町観光協会 副会長 屋久島町商工会 事務局長 屋久島町区長連絡協議会 会長 種子屋久農業協同組合 屋久島統括理事 屋久島漁業協同組合 代表理事組合長 屋久島森林組合 熊毛支庁屋久島事務所 所長 公益財団法人 屋久島環境文化財団 事務局長 町民委員（公募委員） 町民委員（公募委員）	岩川 茂隆 中馬 慎一郎（代理） 橘 誠也（代理） 尾田 賢志 岩川 原造 羽生 隆行 寺田 久志（代理） 鶴田 晃紀 蒲地 祥吾 中田 隆昭 小松 純哉
内容	<p>1. 開会</p> <p>事務局：</p> <p>時間となりましたので、ただいまから、第2次屋久島町観光基本計画策定委員会の第3回会議を開会させていただきます。</p> <p>まず、追加配布資料の確認をさせていただきます。本日は、追加で2枚お配りしております。1つ目が、A4片面刷りの令和7年度策定委員会委員名簿、2つ目が、参考資料1として、町民ワークショップの概要などを記したA4両面刷りの資料の2枚です。</p> <p>続きまして、策定委員会委員についての報告をいたします。本日の会議は、令和7年度になって最初の会議となります。鹿児島県職員の人事異動や、各団体の総会における役員改選によりまして委員の変更がありましたので、御報告・御紹介をさせていただきます。本日、追加でお配りしている令和7年度第2次屋久島町観光基本計画策定委員会委員名簿、A4片面刷りをご覧ください。前回の策定委員会から変更となった委員は3名いらっしゃいます。名簿の上から順に、屋久島観光協会の会長に荒木政孝さんが選任されて変更となりました。本日は代理で中馬副会長の出席となっております。次に、令和7年度の鹿児島県職員の人事異動に伴うもので、熊毛支庁屋久島事務所の所長として鶴田晃紀所長が着任されました。お三方目です。公益財団法人屋久島環境文化財団の事務局長として蒲地祥吾事務局長が着任されております。以上、ご報告申し上げます。</p> <p>2. 報告事項</p> <p>事務局：</p> <p>会次第2報告事項です。事務局から先に開催した「町民ワークショップ」について報告いたします。本日、追加で配布した参考資料1をご覧くださいと思います。</p> <p>以前の会議で町民ワークショップを開催しますとご説明して5月と6月に2回開催したところです。参加対象者につきましては、観光によるまちづくりに興味や関心のある</p>	

町民の方、どなたでも。ということで募集をしたところです。日時と場所につきましては、第1回が5月17日と2回目が6月21日、いずれも土曜日に午前と午後、午前が安房出張所、午後が宮之浦の屋久島町離島開発総合センターで開催したところです。各回のテーマにつきましては、第1回が町民ワークショップの説明とグループワークとして、屋久島町の魅力ですとか観光資源について考えるということでグループワークを行っていただき、第2回は、第1回の振り返りと、屋久島町観光のあるべき姿や将来像や、どのような観光客に来てほしいかというようなことについてもグループワークをしていただいたところです。また、その他としまして、周知媒体としましては、町報4月号、町のHP、町公式LINEで募集をしたところです。募集期間につきましては4月10日から30日の20日間、応募状況につきましては、WEBでの応募が22件の応募、電話が2件、そして、各集落からの応募状況を見ながら個別にお声掛けをさせていただいた11件となっております。資料裏面に参加者の居住地でありますとか年齢構成、また、出身としてIターンの方については居住年数の状況をお示ししております。参加につきましては、1回目が26名の参加、2回目は23名の参加があり、いただいた意見につきましては、整理をさせていただいて計画に反映させたいと考えております。以上で町民ワークショップについての説明を終わります。

委員の皆さんから、ご質問や確認事項等はありませんでしょうか。（質問等なし）

事務局：

質問ないようですので、以上で報告事項の説明を終わります。

3. 協議事項

事務局：

それでは、会次第3「協議事項」に移ります。

ここからの進行は、屋久島町観光基本計画策定委員会設置要綱第6条第1項により、本策定委員会委員長であり、議長となる岩川副町長をお願いいたします。

議長：

お疲れさまです。それでは、早速、会次第に基づきまして、3協議事項について協議を行います。まず、(1)第2次屋久島町観光基本計画骨子案について事務局の説明をお願いします。

事務局：

今回、提案の骨子案につきましては、目次の構成につきましては、他の市町村などを参考として、2月上旬に行った第2回目の担当者会で提案し、説明を行ったもので作成しております。目次構成につきましては、たたき台としてお示ししております。今回のご意見等を踏まえて変更したいと思っておりますのでよろしくお願いします。

目次をご覧ください。まず、序章はじめにとしまして、計画策定の背景と目的や、観光基本計画の位置づけ、計画の期間などを記載します。そして、第1章では、屋久島町観光を取り巻く環境として、我が国の観光動向や鹿児島県の観光動向についてまとめることとしております。続く、第2章につきましては、屋久島町観光の現況として、屋久島町観光の近況ですとか前計画における取組のふりかえり、そして、その他のデータから見る

現況の考察、本町における観光のポイントを整理する予定にしております。第3章において、将来像と基本方針として、観光の基本理念ですとか、将来像、将来像を実現するための方針を定めることとしておまして、そして、定めた将来像や基本方針を実現するための指標として、KGI ですとかKPI などといったものを設定することとしております。なお、KGI は重要目標達成指標、KPI につきましては重要業績評価指標と呼ばれるもので、この2つの関係については、KGI という最終目標の達成に向けて、KPI という行動目標を定めて、KPI を達成しながら、最終目標である KGI を目指していくというようにお考えいただければと思います。そして、第4章においては、施策と具体的な取組として、施策体系ですとか具体的な取組をまとめ、第5章においては、計画実現に向けての推進体制や、目標とする数値指標、ロードマップ、目標達成までの工程表ですね、進行管理として各施策における具体的な事業の実施状況の把握や検証などについてまとめ、そして、最後は、資料編として、観光基本計画策定委員会の設置であるとか、委員名簿などが掲載されることになるかと思えます。

以上が、概ねの目次構成となっております。なお、今後の協議状況により変更があることを御承知おきいただきたいと思います。本日の骨子案は、これまでに行った町民や事業者を対象としたアンケート、現在の観光基本計画に掲げられている施策について役場職員を対象として実施しました評価、そして、最近の国や県の観光動向等を踏まえた整理などにより、概ね作成が可能な序章から第3章までの提案をしております。

なお、資料の詳細は策定支援事業者から説明をいただきたいと思います。

策定支援事業者：

序章から説明させていただきます。

(資料1 第2次屋久島町観光基本計画骨子案について説明を行った)

- ・序章では、計画策定の背景と目的、本計画の位置づけ、計画期間を整理しました。
- ・第1章は、屋久島町観光を取り巻く環境として国や県の観光動向をそれぞれ整理しました。
- ・第2章は、屋久島町観光の現況について、前計画のアウトプット評価やアウトカム評価、その他データから読み取れる状況を整理しました。
- ・第3章は、計画の基本理念や将来像、基本方針、そしてそれに基づく指標項目と考え方を整理しました。

議長：

ただいま事務局から骨子案についての説明がありました。委員の皆様からご意見・ご質問などありましたら、ご発言をお願いします。

委員：

屋久島町の観光基本計画を見て、大変よくつくられていると感じました。町民の方へのアンケートを取って、非常に地に足のついた、実態に即した分析をされて計画をつくられている。さらに、国や県の動向も反映しているということで、大変詳しくつくられていると思いました。特に30ページの屋久島町観光の基本理念というところで、リジェネラティブツーリズムを取り入れているんですけど、最新の観光のトレンドを反映させていらっしゃる。県の観光振興基本方針の中でも取り入れているんですけども、これを前面

に出す書き方というのはなかなか勇気があったところだと思います。ですが、屋久島においてはこれまでに屋久島環境文化村構想ですとか、屋久島憲章、そういった中でこの考え方というのは述べられていらっしやって、世界が屋久島に追い付いてきたのだらうと思っっているところなんです。

いくつか修正、見なおしをお願いしたいところがありましたので述べさせていただきます。統計関係ですけれども、9ページ。鹿児島県内の観光の状況が1つ前のデータで、最新のデータが昨年11月に出ておりますので提供させていただきたいと思います。また、どこまでグラフの実績を合わせるかというところもあります。延べ宿泊者数は今月中には令和6年の確定値が出る予定なので反映できればと思います。31ページ、「基本方針1」の「観光地域づくり」の下から2行目のところで、県の観光基本方針が去年3月に改訂されておまして、「オール鹿児島でのおもてなしの推進」は「県民総ぐるみでのおもてなしの推進」と改正していますので修正いただきたいと思います。

1点質問ですが、33ページ「将来像に対応する指標」としてKGIが盛り込まれていますが、行政が作る計画では、KPIはよく用いますが、KGIという最終目標というのを定めるのはなかなか例が少ないと思うのですが、どのようにお考えで入れ込んだか教えてくださいたいと思います。

事務局：

KGIとKPIについては、先ほど説明しましたとおりKGIは最終目標ということで、この計画が満了する10年後にはこの目標を達成したいということで、この満足度という指標がどこから来たかという、町民アンケートにおいて、前回の会議資料をお持ちであれば参考資料1としてお配りした資料の4ページに観光基本計画の満足度と重要度というのがあるんですけども、ここの「満足」と「やや満足」の結果を足し合わせて平均した数値が現状値ということで22.9%となっています。10年後に同じようなアンケートを取りまして、各施策の「満足」と「やや満足」の指標を今後10年間で上げていきたいと思います。ということでKGIとして設定したところです。そして、それを達成するために中間的な目標としてのKPIとして、消費額単価ですとか町外入込者数などを設定したところです。

委員：

とても志の高い目標設定だと思います。これを設定できるのは、細かなアンケート調査などがベースにあることからできるものと理解しました。

策定支援事業者：

KGIを設定した理由としましては、観光計画という行政レベルの個別計画をバックキャストの考え方で進めていきたいと思われました。将来像を設定して、それを実現するために基本方針があって、施策がぶら下がっているというような、将来像を頂点としたロジックツリー型として、第4章の施策体制を組み合わせる予定としていますので、まさに、一番頂点の部分が達成できているのかいないのかを計るためにはKPIではなくKGIが必要だらうということで設定しております。

KGIとして町民満足度を設定している理由としましては、他の公共性の高い行政計画に比べると、観光は民間事業者の方の頑張りが大きく影響するもので、行政が観光を抱える意味としては、観光が住民のためのものになるというようところに力を入れていく

べきだと思いますので、観光政策あるいは観光産業に対して住民が満足しているという状況をつくり出すことが観光基本計画の意義だろうと思いますので、そういったことを踏まえてこういった設定をしているということです。

議長：

他に委員の皆様からご意見ありませんか。

委員：

KGI と KPI の最終的な目標は、5章に入ってくるということですか。

事務局：

はい。

委員：

担当者会議で出た意見は、本日、別紙で配られているんですが、最終的には盛り込まれるという認識で良いですか。

策定支援事業者：

はい。担当者会議で出された意見で修正したものでこの会議に諮るのではなく、担当者会議でもこの会議でもそれぞれ同じような物に意見をいただきたいということで、未反映でこういう意見があったと別紙で付ける形で提出させていただいておりますが、今日を経て盛り込むべきものを盛り込んでいくという作業を行います。

委員：

担当者会議でもお願いしたんですけども、言葉が難しくて一般の方が見ても分からないと思うんですよ。後ろの方にでも語句の説明を入れていただければと思います。

策定支援事業者：

はい。反映が漏れておりまして申し訳ありません。最終的にはそういった解説を付けますが、巻末というよりもその単語が出てきた直下がよいと考えますので、脚注のような形で難しいものに関しては解説を入れたいと思います。

ただ、一方で我々も驚いているのは、おっしゃる通り一般の方が知らないような単語が町民ワークショップで出てくるあたりが、屋久島の先進的な部分なんだろうなと驚いたところです。

議長：

ただいまの件については、今後反映をお願いしたいと思います。

はい。どうぞ

委員：

30 ページの「屋久島町観光の基本理念から将来像」について、「リジェネレーション」「再生」という言葉。私も勉強して最近知った言葉なんですが、少し違和感を覚えていまして、「持続可能から再生可能へ」という言葉。屋久島の歴史を、ここの将来像でも「大伐採により地域資源の『消費』が進むも」とありますが、確かに大伐採はあったんですが、屋久島町のこれからの観光を考える上でやはり一次産業との連携とか、地域資源との活用は欠かせないと思っています。その中で再生という言葉は確かに大事なんですが、再生してからまたそれを利用していく、それを持続して活用していくというのが屋久島の理念であると思うし、屋久島憲章だと思っています。その中で、「エコツーリズム」と

というのが、文章の中段のところに「トレンド」と書いていますが、「エコツーリズム」というのは、サステイナブルや再生といった意味も含む包括的な言葉だと思っています。ですので、ここで「再生」、「リジェネレーション」という言葉が将来像に出てくるのは、これは大きく含めて「エコツーリズム」なのかなと思っています。「再生」という言葉は、これからもっと議論して使わなければいけないのかなと思うんですが、そういった議論がしっかりなされているならいいんですけど、一町民から意見として出た言葉を今回の中で議論もしないままこういう大事な文章に乗せるというのはどうかなと思いました。しっかり皆さんが議論されて腑に落ちていれば問題ないと思っていますが、その辺はいかがお考えですか。

事務局：

会議につきましては、この策定委員会の下部組織として担当者会というのがございまして、その担当者会に諮ったものをこの策定委員会にあげております。

「エコツーリズム」という言葉の解釈につきましてはなかなか難しいところがありまして、委員がおっしゃったように「再生」を含んでいるという方もいらっしゃれば、「エコツーリズム」は保全と活用であって、再生までは入っていないというような考え方をする方もいて、言葉の解釈は難しいところがあります。今後、屋久島が進むべき方向としては、前計画で掲げられたものは揺るぎないと考えておりまして、今回、基本理念から「エコツーリズム」という言葉を外して「世界自然遺産『屋久島』の価値創造」としましたのは、そういった言葉にこだわらずに大きな意味を持って設定しようという提案であるをご理解いただきたいと思います。

委員：

「エコツーリズム」という言葉が出てきた時も、この20年、30年なかなかピンと来ないで島の中でも浸透するのにかなり時間がかかったのはあります。おそらくこの「リジェネレーション」というのも浸透するのにすごく時間がかかるかなと思っていますので、十分な議論を踏まえて使っていただければと思います。屋久島は屋久島憲章があって、将来も屋久島憲章が定めるビジョンを描き進むと思いますので、どこかこの将来像の中に屋久島憲章の「再生」につながる言葉と「リジェネレーション」というのがリンクするような言い回しというのがあった方がいいかなと個人的に思います。

委員：

屋久島町では今年の4月に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」というのをつくられたと思うんです。その中で将来の人口減少というのは歯止めができなくて、なるべく人口減少を抑えていこうということで作られていたかと思います。確実に10年後には人口が1万人を切るような想定が出ていたかと思いますけれども、この計画の中で、そういった人口減少といった問題の切り口みたいなテイストが入っていないところが、やはり入れるべきではないかと個人的には思います。観光産業も人材もそうなんですけれども、いろんなところで人不足というところがあります。今後、具体的な施策の中で人材確保だとか育成だとかが出てくるのだと思いますけれども、やはり、そういったことも背景にはあるということの問題意識をもって計画をつくられた方がよいと思います。

事務局：

ありがとうございます。そういった意見も踏まえて策定したいと思います。

議長：

他にご意見、ご質問等ございませんか。 はい。どうぞ

委員：

勉強不足で大変失礼ですが、アウトプットとかアウトカムとか出てくるんですが、日本語で書いてほしいと思います。最近、分からないことは携帯で調べればすぐ答えが出てくるんですが、この資料を読むときに調べなければならないことが多くて、まずアウトプットとは日本語に直してください。どなたでもいいので。

その次にアウトカム。そして、KGI、KPI も分からない。略語であるなら「K」何々、「G」何々、「I」何々と入れてほしい。

事務局：

資料につきましては、担当者会でも横文字が多いというような意見をいただきまして、確かにそうであると反省するところでしたので、先ほどもありましたように、できるだけ皆さんに伝わりやすい表現にしたり、分かりにくい言葉についてはページ下に説明書きを入れたりして作成したいと思います。

策定支援事業者：

参考のために用語の解説をさせていただきますと、アウトプットはどれだけやったか。例えばイベントを1回やりましたとか、2回やりましたみたいなのがアウトプットで、アウトカムはどれだけ成果が上がったかなので、そのイベントを何回やったかではなく、イベントをやった時に何人集めることができました、売り上げがいくらありました、みたいなのがアウトカムになります。KGI、KPI に関しましては、Key Goal Indicator とか Key Performance Indicator ということで、KGI のG はGoal ですから達成しているかどうかを計る指標で、KPI に関しては Performance なので施策とか取組レベルで先ほどのアウトカムだとかを用いて計るための指標になります。

委員：

先だって行われた2回のワークショップの参加者の中からも、このようなKGI とかKPI という言葉が実際に出てきたのですか。

策定支援事業者：

KGI、KPI という言葉が出てきたかどうかは正確には記憶しておりませんが、先ほど私が驚いたと言ったのは、「リジェネラティブ」や「ネイチャーポジティブ」とか、一般の方が聞いても？が付いてしまうようなカタカナが多くの方から結構な頻度で出てきたことで、その中にKGI、KPI が出てきたかどうかは記憶しておりません。

委員：

ありがとうございます。

議長：

他にご意見等ございませんか。

【 意見等なし 】

特にないようですので、続きまして、(2)その他について事務局の説明をお願いします。

事務局：

会議資料の送付後に新たな協議事項などがあれば協議しようと考えましたが、特段ありませんでしたので、事務局からはございません。

議長：

事務局からは特にないということですが、委員の皆さまから何かご意見等があればお願いします。（意見等なし）

それでは、特にないようですので、以上をもちまして、3の協議事項を終わります。皆さまありがとうございました。会議の進行を事務局にお返しします。

4. その他

事務局：

続きまして、会次第4のその他です。事務局から、次回の会議日程及び謝金及び費用弁償について、ご連絡させていただきます。

次回、第4回目の会議については、令和7年9月3日水曜日、午後2時からです。場所は本日と同じ役場本庁舎2階会議室です。次回第4回会議までの予定としまして、次回の会議までに担当者会を7月と8月の2回行います。その中で本日提案した骨子案を詰めさせてもらって、第4回の策定委員会にある程度出来上がったものを提案したいと思います。そして、9月3日の会議で承認をいただけた場合には9月中旬から下旬以降に予定しているパブリックコメントを実施したいと考えております。したがって、次回第4回目の会議においてはある程度出来上がった計画書の提案となりますのでよろしくをお願いします。

委員の皆さまから何かございませんでしょうか。（意見等なし）

5. 閉会

事務局：

それでは、以上をもちまして、第2次屋久島町観光基本計画策定委員会の第3回目の会議を終了いたします。ありがとうございました。